

歴史を直視しながら  
未来に向かう行く、

# 東北アジア歴史財団

NORTHEAST ASIAN  
HISTORY  
FOUNDATION

RESONANCE

COEXISTENCE

HISTORY



## 目次

- 04 挨拶
- 06 ビジョン
- 08 沿革
- 10 活動
- 14 附属施設
- 16 図書の発刊と歴史DB
- 18 アクセス

COEXISTENCE

RESONANCE

HISTORY

## プロローグ

### 平和な東北アジアのために

— 東北アジア歴史財団は、東北アジアにおける、歴史の認識による対立と葛藤を賢く克服し、平和に繁栄する共同体を作るために2006年9月に設立しました。

— 長い人類の歴史から韓国史のアイデンティティと普遍性を探し、それを世界に広く知らせるのが東北アジア歴史財団の最も大きな使命です。

— 東北アジア歴史財団は、韓国の歴史が誇らしい分、隣国の歴史も開放的に探求し、尊重します。

— 東北アジア歴史財団は、韓日中の市民が平和な東アジアでともに繁栄する知恵と教訓を見つけるために努力します。



## 挨拶

### 歴史を深く研究して 東北アジアの平和と繁栄を導きます。

昨今の世界は今まで経験したことのないスピードで変化しており、その変化の中心は韓日中が属する東アジア地域にあります。

しかし、世界発展の中心である東アジアにおいて、歴史と領土問題は潜在的な葛藤の要素として指摘されています。

東北アジア歴史財団は、こういう葛藤が東アジアの平和と繁栄への障害にならないように、問題の根本を探し、対策を模索する学術研究機関です。

また、韓国史のみならず、隣国の歴史を広くて深く研究することで、理解と友好は増進し、反目と葛藤は減らして信頼をもとに平和共存する東アジアを作るために努力しています。

特に、上古時代から近代・現代史まで、中国の東北工程と日本軍「慰安婦」をはじめとする日韓間の歴史争点および独島問題を深く研究し、これをもとに朝鮮半島および周辺地域の歴史を正しく認識するために必要な政策対策を開発して行きます。これは、民族の念願である平和統一の達成にも重要な基盤になると思います。

我が財団は韓日中はもちろん、世界各国で行われる研究活動を支援し、新しい研究者を積極的に発掘して国際社会が認める世界的なシンクタンクに発展して行きたいと思っています。

東北アジア歴史財団の研究と学術事業、国際交流、教育と広報など、色んな役割に多くの関心と声援を送ってくださるよう、何卒よろしく願いいたします。

東北アジア歴史財団 理事長 キム・ホソブ(金浩燮)

# 東北アジアの歴史・領土 研究の世界的なシンクタンク

歴史・領土研究の中心

歴史・領土情報の宝庫

平和交流と協力の媒体



## ビジョン

01

歴史・領土  
研究の中心



- 東北アジア歴史財団は基本的に韓民族のアイデンティティと、韓国史の普遍性を明かすための研究に集中しています。しかし、一国の歴史は周辺国の歴史と絶えず相互作用して発展するので、周辺国の歴史も体系的に研究しています。
- 未来の東アジアを導いていく新進の研究者が、その斬新な理論を発展させることができるように励まし、不十分だった分野における専門家の育成にも力を注いでおります。

02

平和交流と  
協力の媒体



- 東アジアが相互間の理解を広め、平和共栄するためには、自国の歴史が大切であるほど、隣国の歴史も尊重する態度が必要です。
- 韓日中をはじめとしたアジアの諸国が平和に交流・協力した事例を発掘・研究することと同じぐらいに、そのような交流や協力をを行い、信頼を築くことも大切です。
- 東北アジア歴史財団は韓国はもちろん、アジアと世界各国の歴史・領土・国際関係分野の研究者、歴史教育者、市民団体の出会いの場を作ります。

03


歴史・領土  
情報の宝庫





- 東北アジア歴史財団は東アジアの歴史、領土、海洋に関する図書や色んな形の原文資料を収集し、これをDBとして提供し、財団の研究成果を学術書として発刊して全世界に配布しています。
- 特定の国の歴史を超えて、「東アジア史」という幅広い観点を提供する歴史教師研修プログラムは、財団がやっている最も特色のある事業です。
- 歴史に興味がある市民や青少年が気軽に歴史に親しくなり、楽しく歴史の勉強ができるように大衆に親しいコンテンツを作り、提供しています。





沿革

- 


**2014** 2.25  
東北アジア歴史資料センターを  
‘東北アジア歴史資料室’に改編
- 2012** 9.17  
キム・ハクジュン(金學俊)  
第3代理事長が就任
- 

**2009** 9.17  
ジョン・ジエジョン(鄭在貞)  
第2代理事長が就任
- 2008** 4.23  
東アジア史の教科教員の研修機関に指定
- 

**2008** 8.8  
独島研究所が開所
- 2008** 1.17  
東北アジア歴史資料センターが開所


- 2006** 9.22  
東北アジア歴史財団の出帆式
- 

**2006** 5.19  
東北アジア歴史財団の設立・運営に関する法律を制定
- 2015** 9.17  
キム・ホソプ(金浩燮)  
第4代理事長が就任


- 2013** 7.5  
東北アジア独島教育研修院が認可を受ける
- 2012** 9.14  
独島体験館が開館
- 2006** 9.1  
キム・ヨンドク(金容徳) 初代理事長が就任



## 活動



### 歴史の研究と調査

- 古朝鮮から続く韓国古代史と文化の源を探し、東アジアや中央アジア関連の歴史を研究します。
- 東北アジアの三国、韓日中の歴史葛藤を解決し、正しい韓国史を認識してもらうために、周辺国との関係史を深く探求・考察します。

#### • 韓国上古・古代史の研究基盤を構築

- 上古史の研究
- 高句麗史の研究
- 渤海史の研究
- 中央ユーラシア地域の研究

#### • 東アジア歴史の共同研究

- 東アジア史の理論の開発
- 東アジアの海洋辺境の研究
- 東アジア 関係史の基礎資料を編集
- 東アジア史研究フォーラムの運営
- 韓日歴史家会議の開催支援
- 韓・モンゴル歴史家協議会の運営

#### • 韓日の歴史懸案を分析し、研究基盤を構築

- 日本軍「慰安婦」問題の研究
- 日本の教科書の分析
- 韓日関係史の研究
- 韓日の歴史懸案のモニタリング

#### • 韓中の歴史懸案を分析し、研究基盤を構築

- 韓中の境界問題の研究
- 中国の歴史教科書の分析
- 近代の韓中関係史を研究
- 韓中の歴史懸案のモニタリング

## 02

### 領土・領海に関する研究と調査

- ― 独島の歴史と地理を研究・調査します。国際法的にも独島が韓国の領土であることを論証する資料と論理を深堀分析します。
- ― 韓国が2千年以上使ってきた東海という名称が国際社会でも通用されるように関連研究を行い、動向を把握します。

#### • 独島・東海に関する研究

独島の歴史・地理に関する研究  
鬱陵島・独島に関する史料の調査  
国際法と近代条約の研究  
独島・東海に関する古地図の収集と研究  
独島アーカイブの構築

#### • 東海に関する表記の間違いを是正

独島・東海に関する懸案をモニタリング  
表記の間違いをモニタリング  
「東海」表記を拡散させるための広報



## 03

### 政策対案を模索

- ― 東アジアと国際社会で論争になる歴史・領土問題と関連動向への多角的な接近によって具体的な政策対案を探します。
- ― 韓国や隣国を含めた東アジア秩序の変化を察し、平和共存の方案を模索します。

#### • 国際社会における歴史論争を研究

東アジアの領土と歴史問題を研究  
歴史・領土に関する動向を分析  
歴史懸案を研究する海外の専門家を招請  
欧米における韓国史研究の支援

#### • 東アジアにおける学术交流

東アジアの周辺国と学術・政策協力  
シンクタンクたちと政策フォーラムを開催

#### • 東アジア秩序の深化研究

東アジアと韓半島を地政学的に研究  
分断国の歴史統合事例を研究  
辺境と越国境の研究

#### • ブレンド研究課題

韓国外交史を研究  
韓国史ストーリーテリングシリーズを開発  
韓国古代史の研究方法论を開発  
日本の歴史認識を研究



## 04

### 相互理解を助ける歴史教育と広報

- ― 韓日中の国民が、お互いによく理解できるように東アジアに関する多様な書籍や学術誌を発刊し、国内外のNGOを支援します。
- ― 韓日中の未来世代が正確な歴史観を持つように共同副教材の開発、歴史体験教育、論文公募展などを行います。



#### • 学術書籍の翻訳発刊

歴史書の韓日・韓中翻訳本を現地で出版

#### • 学術誌の発刊

《東北亜の歴史論叢》  
《領土海洋研究》  
The Journal of Territorial and Maritime Studies  
Journal of Notheast Asian History

#### • 東アジア史・独島教育

東アジア史・独島関連教員研修  
東アジア史の教育資料を開発  
独島ジキミ(守り)学校を支援  
独島に関する教材の開発と補給

#### • 韓日中の次世代が歴史認識を共有

韓日中が共通で使える歴史副教材を開発  
青少年歴史体験教育  
国内外の外国人と在外同胞に歴史懸案を教育  
韓中の大学生(大学院生)対象の論文公募展

#### • 国内外のNGOとの交流と協力

国内外の歴史・独島関連市民団体を支援  
歴史NGO世界大会  
歴史NGO活動家大会

## 付属施設



## 東北アジア歴史資料室

東アジアの歴史資料がそろっているところ



- 世界の色々な国が発行した東アジアの歴史、外交、独島や領土・領海などの資料を収集・整理して誰もが便利で簡単に利用できるようにした東アジアの歴史・領土専門図書館です。
- 韓日中の歴史資料と韓日、韓中関係の資料、日本軍「慰安婦」に関する資料、独島や東海に関する資料など、7万7千冊余りの本を所蔵しています。
- 世界各国の教科書と古地図、非図書資料6千冊余りと学術誌379種、電子ジャーナル19種もサービスし、関連研究者は必要な資料が利用できます。

利用案内 ○ 平日の午前 9時~午後6時に開館(土・日は休館)

資料室を訪問するとき、著作権が許す範囲内なら無料でコピーと貸し出しが利用可能。

財団のホームページ: 電子図書館(<http://www.hflib.kr>)は一年中資料が閲覧可能。



## 独島体験館

ソウルで出会い、経験する独島



- 2012年開館した独島体験館は首都圏最初の新概念独島博物館です。
- 独島体験館の展示物はこの60年間自然・人文学分野において行われた調査と研究成果をもとに作り出したものです。展示物は実物、デジログ、ストーリーテリング、映像、象徴物などの色々な技法で演出し、観覧客が独島について面白く勉強し、感じるようになりました。
- 体験館では色々な学習プログラムも経験できます。幼児のためのマリオネット公演‘独島物語’、小学生のための‘今日は私が館長’プログラム、中学生は‘私も東アジア史の専門化になろう’プログラムに参加できます。

利用案内 ○ 午前9時~午後6時 常設開館(月曜は休館)

独島体験館のホームページ(<http://dokdomuseumseoul.com>)で訪問や体験プログラムが予約可能

圖書の発刊と  
歴史DB



### 東北アジア歴史ネット

<http://contents.nahf.or.kr>

記憶から明日を作るオンライン歴史資料室



- 歴史資料専門データベースです。
- 15万件以上の多様な原文歴史資料の中には中国に所在する高句麗の金石文、古朝鮮・檀君・夫餘資料集、渤海史資料集などの古代史資料と《勤界使略録》《同文彙考》《朝清国境会談資料集》《清季中日韓關係史料》等の朝鮮史関連資料、《韓日会談の外交文書》等の近代史料があります。
- また、高句麗の古墳壁画、高句麗の城、日本軍 慰安所の地図、3D独島、東海の中の独島などの多様な歴史コンテンツ、東アジア史と独島の授業資料、《日本軍「慰安婦」の正しい理解のための教育教材》もここからダウンロードしてご利用できます。
- 東北アジア歴史ネットの一部資料は英語、中国語、日本語でもご覧になれます。

### 圖書発刊

歴史勉強の楽しさ



- 歴史懸案と韓国史に関する研究成果を国内外に広く知らせるために多様な圖書を発刊しています。
- 財団で行った企画研究の結果を集めた‘企画研究’シリーズ、国内外の著名な学者の研究成果を集めた‘研究叢書’シリーズ、1次史料を翻訳・解析した資料叢書、ロシアと北朝鮮にある韓国史遺跡の発掘結果を書いた‘発掘報告書’など、総350冊余りを発刊しました。
- 発刊した圖書は国立・共立図書館と公共図書館、海外有数の図書館と韓国学研究機関に配布しました。
- 発刊した圖書に関する資料は財団のホームページ(<http://www.nahf.or.kr>)と東北アジア歴史ネット、東北アジア歴史資料室からも閲覧できます。



## アクセス

### 東北アジア歴史財団

住所 | (03739) ソウル市 西大門区 統一路 81 イムグァンビル

電話 | 02-2012-6000 FAX | 02-2012-6175

### バス

**G 緑色のバス** 7013, 7017, 7014, 7019, 7021, 7023, 7024

**B 青いバス** 300, 700, 701, 702, 703, 704, 707, 750

**R 赤いバス** 9703, 9706, 9710, 9711, 9713

### 地下鉄

**②号線 ⑤号線 忠正路**(3番出口)から歩いて5分

**①号線 ②号線 市庁駅**(10番出口)から歩いて9分

**①号線 ④号線 ソウル駅**(2番出口)から歩いて17分

**⑤号線 西大門駅**(7番出口)から歩いて7分

平和と安定の東北アジア  
への道を開いて行きます。



### 東北アジア歴史財団のロゴがもつ意味



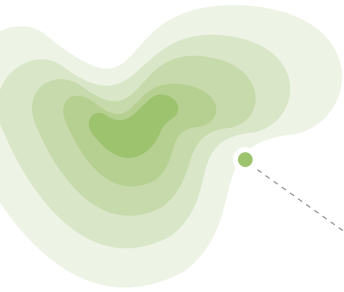
アジアを意味する漢字「亞」をモチーフに伝統家屋、座ったままで向かい合う二人、鬼面の三つの姿が現れるイメージを形象化した。



平和を象徴する緑色の屋根と、安定を象徴するツートンの茶色を使い、「東北アジア」という一つ屋根の下で暮らして行く人々が和合し、平和と安定をなす姿を表現した。



勇壮な鬼面の形象は東北アジア歴史財団が正しい歴史の定立によって韓国の歴史を守って行くという強い意志を含んでいる。



NORTHEAST ASIAN  
HISTORY  
FOUNDATION

[www.historyfoundation.or.kr](http://www.historyfoundation.or.kr)